「楽しさ」を入り口に行動変容へ：エアークローゼットが挑む、循環型社会

airCloset

CIRCULAR FASHION

Creating New Lifestyles For Smiles :)

株式会社エアークローゼットは、2014年創業のファッションテック企業である。日本初の月額制ファッションレンタルサービス「airCloset」を中核事業とし、スタイリストがユーザーに似合う服をパーソナライズして選定・送付するサブスクリプションモデルを展開している。その他、家電等のレンタルモール「airCloset Mall」や、自社の循環型物流基盤を他社に開放するプラットフォーム事業「AC-PORT」を推進する。ITと独自の物流システムを駆使し、2022年には東証グロース市場へ上場している。

「楽しさ」を入り口に行動変容へ：エアークローゼットが挑む、循環型社会

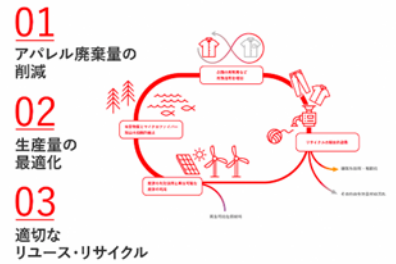
「服を“シェアする”」という概念を掲げ、サービス設計そのものが循環モデルとなっている。1着の服を多人数で共有することで、個人の保有枚数と新規生産量の削減に寄与している。返却された衣服は徹底したメンテナンスを経て再利用され、2022年からは衣服の「焼却・埋立処分ゼロ」を継続している。レンタル提供が困難となった服も、会員向けの「エコセール」での再販や、リサイクルボード「PANECO」への加工を通じて資源循環を徹底している。

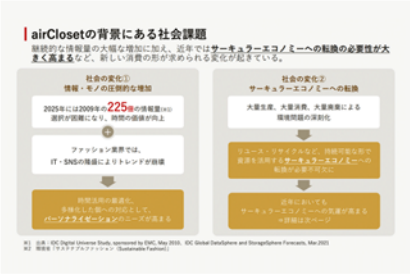
さらに、自社で構築した「貸し出す・戻る・修理する」という一連の循環型物流システムを、プラットフォーム事業「AC-PORT 」として他社への提供もスタートしている。これにより、他社がゼロから投資することなく循環型ビジネスを開始できる環境を整え、社会全体のサーキュラーエコノミー移行の加速を目指している。

消費者へのサーキュラーエコノミーの伝え方

消費者にサービスを利用してもらう際、あえて「サーキュラーエコノミー」や「環境貢献」という言葉を前面に出さない戦略を採用している。これは、環境意識を入り口にするよりも、サービスの「楽しさ」や「利便性」といった本質的な価値を優先することが結果として多くの消費者を巻き込むことにつながるという考えに基づいている。同社では、プロのスタイリストに服を選んでもらう楽しさや、服を選ぶ時間を節約し人生を豊かにするといった顧客体験を重視している。消費者が「良いサービスだから使う」という動機で利用する中で、意識せずとも自然に循環の仕組みに参加している姿を理想としている。

一方で、環境意識の高い消費者や、情報を求めるステークホルダーに対しては、アクセスできるよう、数値を公表している。環境省の実証事業の中で、CO2削減量や廃棄物抑制量を推計・指標化し、自身の消費行動がどのように環境貢献につながっているかをプレスリリース等を通じて発信している。このように、消費者の関心に沿った段階的なコミュニケーションを図ることで、持続可能な消費行動を徐々に広げている。





作り手（製造事業者）へのサーキュラーエコノミーの伝え方

製造事業者との連携では、正当な契約に基づき衣服を買い取る「仕入れ」を基本としている。契約と信頼関係を重視しており、ブランド側に無断で市場から衣服を調達し、勝手にプラットフォームの品揃えを増やすような行為は行わない方針である。

当初、製造事業者からはレンタルが新品の販売機会を奪いかねないとの懸念も示された。しかし、レンタルでは利用者一人ひとりに合わせた提案が可能であり、従来はブランドを知らなかった層へ認知を広げる新たな接点となっている。さらに、実際に着用した利用者から率直な感想を得られる新しいマーケティングチャネルとしても機能しており、こうした価値の提示によって事業としての合理性への理解が得られている。そのプロセスの中で、製造事業者の余剰生産を抑え、市場ニーズに沿った製品提供に向けたコミュニケーションも進めている。

株式会社エアークローゼット
〒107-0062 東京都港区南青山3-1-31 KD南青山ビル5F
TEL：03-6452-8654
URL：　https://www.air-closet.com/
　　https://corp.air-closet.com/

airCloset